

平成 24 年度離島漁業再生支援交付金による取組概要

1 集落協定の概要

都道県名：愛媛県

市町村名：松山市

協定締結集落名：二神集落

交付金額：5,304千円

協定参加世帯数：39人（うち漁業世帯39人）

2 協定締結の経緯

二神集落は、豊富な魚介類が生息する屈指の好漁場を有し、一本釣り、刺し網、たこつぼ漁、採介藻などが盛んに行われている。離島というハンディを抱え、基幹産業である漁業において、漁業者の減少や高齢化が進行している。また、魚価の低迷に加え燃料費の高騰により、厳しい状況におかれている。

こうしたことから、沿岸漁業資源の維持・拡大、漁場環境の保全、漁業集落の活性化、所得の向上を目指して離島交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

3 取組の内容

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

- ・クロアワビの種苗を中間育成し、資源の保護育成を図った。（2,000個）
- ・アカウニの放流を実施し資源の保護育成を図った。（5,000個）
- ・スポアバック方式によるヒジキの増殖やワカメの海面養殖に取り組んでいる。
- ・海域環境の保全と土砂の流出を防ぐために植樹先の維持管理を図った。
- ・密漁や違反操業又は違反漁具の使用等から地先資源の保護及び漁具の保全を図るため、漁場監視を行った。（年間8回）

②集落の創意工夫を活かした取組状況

- ・集落の活性化を図るため、新たな漁法（定置網漁業）を共同で取り組んだ。
- ・ヒジキ、ワカメについては、簡易加工した製品を共販出荷し流通網の改善を図った。
- ・また、水産物の簡易加工（グチ・エソ干物、乾燥ヒジキ等）を農林水産祭り等で販売を行った。

4 取組の成果

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

- ・アワビの種苗を中間育成したことにより資源の増大が期待された。
- ・アカウニの種苗を放流したことにより資源の増大が期待された。
- ・ヒジキの増殖やワカメの海面養殖を行うことで地先資源の増大が期待された。
- ・植林後の維持管理により土砂の流出や、沿岸海域への栄養分の供給が期待された。

- ・漁場監視を実施することにより、地先資源の保護が図られ、違反操業の減少が期待された。

②集落の創意工夫を活かした取組状況

- ・定置網を設置することにより、漁獲量の増加がみこまれた。
- ・水産物（ヒジキ・ワカメ）の簡易加工に共同で取り組み、共販出荷することにより流通販売網の一元化が図られ、漁家所得の安定と向上に繋がった。

（ワカメ・ヒジキの出荷量 ワカメ245kg ヒジキ200kg）

種苗放流	簡易加工（ワカメの採捕状況）
	
植林・維持管理	漁場監視
	
簡易加工	簡易加工品販売
	